



議会だより

かつらぎ

Gikai 2015.11 (平成27年)

発行 / 和歌山県かつらぎ町議会
編集 / 議会広報編集特別委員会

67号



国体 デモンストレーションスポーツ オリエンテーリング競技会

主な内容

中飯降駅前広場整備 2ページ

起業支援2件実施へ 4ページ

一般質問 町民のおもいを届ける60分 7ページ

追跡 あの一般質問はどうなった 16ページ

がんばる人紹介 20ページ

便利になる 中飯降駅前広場整備

JR中飯降駅北側に公衆トイレとロータリー、駐輪スペースを備えた広場が整備され利用者の利便性が高まります。完成予定は、平成28年3月末です。

中飯降駅は、通勤通学に中飯降地区をはじめ妙寺、丁ノ町、広野など広範囲の方々が利用してい

ます。特に、紀北分院の通院者、200人を超える紀北農芸高校の生徒たちが毎日利用しています。

多くの利用者が直面する不安はトイレです。そのため、早朝より周辺の家のトイレを借りたり、時には物陰に隠れて用を足すなど、駅周辺住民にも多くの迷惑をかけてきました。

完成予想図



トイレの不安解消

駅設置以前は、最寄り駅が妙寺駅と遠く、通勤通学に不便がありました。当時の国鉄に地元から再三の陳情と用地の無償提供があり、昭和32年に中飯降駅が実現しました。駅設置後、利用者よりトイレ設置の声があり、歴代の中飯降自治区役員の取り組みにより、念願のトイレが設置できます。

広範囲の利用者が多いので、朝夕の通勤通学時間帯は送迎の車が多くなり、駅付近では地元の車の走行に支障をきたしています。

これらの問題を解決するため、駅北側の隣接する土地約590㎡を借りて、公衆トイレ(大1、小1、多目的1)、駐輪スペース(約30台)、ロー

タリーなどを設置し、隣接する町道を整備します。予算額は約3100万円で、平成28年3月末完成予定です。今回の駅前広場の整備は、地主はじめ関係者の理解と協力により実現しました。なお、駅設置時の用地無償提供者と駅前広場の土地所有者は親子で、中飯降駅の発展に大きく貢献しています。





こども園の指定管理 かつらぎ福祉社会に決定

7月会議

7月会議は7月13日に開会し、その日のうちに終了しました。

議事内容は	
・補正予算	1件
・条例	1件
・規則	1件
・規約	4件
・契	4件
・その他	2件

詳細は紙面に掲載しています。

問

新たなこども園に対して、保護者の要望やニーズを踏まえた運営ができませんか。

教育総務課長補佐

現在

の社会状況や女性の社会進出などから、両園で午後8時まで延長保育を行います。預かり保育も午後4時30分までとしニーズに対応します。

問

こども園を運営するなかで、かつらぎ福祉社会との連携を図りながら対応する必要がありますが、どう思いますか。

町長

法人との連携は特に密にする必要があると思います。財政運営についても十分連携をしていきたいと思えます。

問

交通手段に課題のある保護者に対してどのような対応をしますか。



整備中の三谷こども園

教育総務課長補佐

保護

者の送迎を基本とします。どうしても交通の手段を持たない保護者については対応を考えます。

問

今回の指定管理については、公募していません。どのように選考したのですか。

町長

指定管理を随意契約としたのは、現在法人の職員が50人程度です。他の管理者を選択すれば大きな雇用の不安が生じます。現在の職員に新たな職員を加えて運営することで、十分現在の保育水準が確保できるため、両園ともかつらぎ福祉社会へお願いすることになりました。



ふるさとセンター 建設始まる



花園ふるさとセンター建設現場

問

以前議会で建設課が設計から完成まで関わるようルール化を求めました。今回の工事は総額5億円という巨費を投じる大工事です。失敗は許されません。ルール化は機能していますか。

建設課長

平成27年度から新規事業については、当初の設計協議から最終施工まで建設課の職員がかかわるよう

問

建設地周辺の木が悪くなっています。支障木の伐採するには営業

が始まってからでは困難です。早期に伐採をする考えはないのですか。

町長

支障があれば、所有者と交渉して対処できればと思っています。

地域活性化のため 起業支援2件実施へ

9月会議

9月会議は8月26日に開会し、9月10日に終了しました。

議事内容は	
・人事	1件
・補正予算	10件
・条例	5件
・決算	3件
・契約	2件
・その他	1件
・報告	2件
・諸報	2件
・一般質問	8人

詳細は紙面に掲載しています。

9月会議補正予算は交付税確定と補助金の決定などで予算が組みられました。補正額は1億5889万7000円と規模の小さいものになりました。

バッテリーセンターとカフェ実現へ

問 起業者に最高500万円を補助する事業について、何人の応募があり、何人が交付を受けることになったのですか。

産業観光課長 5件応募があり2

件に決定。フルーツ加工販売（将来的にはカフェも開きたい）という事業とバッテリーセンター設置などの事業です。

問 観光農園への発展、スポーツ振興に力を入れていきたいとの将来の夢があります。何ら

かの支援を。

産業観光課長 町内産業の振興に

も繋がるため、どのような支援ができるのか検討します。

ふるさと納税 1・6倍に

問 ふるさと納税の状況はどうなっていますか。

企画公室長 4月131

706件、6月882件、7月372件、8月427件、合計3706件で

す。前年比1・6倍、特産品では桃をはじめ夏果物が好評です。

プレミアム 商品券再販売へ

問 プレミアム付商品券の販売実績はどうなっていますか。

産業観光課長 全体1万

冊のうち販売実績は9397冊で、現在2603冊が残っています。残った分については、引き続き何らかの形で販売したいと考えています。

耐震シェルター 等に補助

問 耐震ベッド・耐震シェルター設置補助金について、町の補助金要綱は作っていますか。

今何回件の枠があるので

建設課長 町の補助金要綱は10月中旬

を予定しています。本町は2件申請しましたが1件となりました。

人事

人権擁護委員 候補者を推薦

議会で適当と認められ、町が法務大臣に推薦しました。（任期3年）



浦中 みつる氏（再）
（59歳・花園梁瀬）

平成27年度補正予算（7月・9月会議の合計額）

会計名	補正額	補正後の予算総額	
一般会計	1億5889万7000円	115億1220万8000円	
特別会計	シビックセンター	0円	4781万7000円
	国民健康保険事業	885万8000円	30億4740万5000円
	国民健康保険天野診療所事業	0円	1045万8000円
	後期高齢者医療事業	250万5000円	5億1122万8000円
	介護保険事業	330万6000円	25億1753万2000円
	下水道事業特別会計	0円	6億2175万1000円
	花園地域交流推進施設運営事業	△71万3000円	4億295万4000円
	花園守口ふるさと村運営事業	264万5000円	3034万5000円
	花園梁瀬簡易水道事業	99万円	533万4000円

26年度決算 監査委員報告に対する質疑

会計は破たんしないのでは？

平成26年度各会計決算は、決算審査特別委員会に付託され審査されます。付託前に監査委員の報告に対する質疑が行われました。

一般会計と特別会計

財政は硬直化と答弁

問 監査委員は、健全化判断比率の監査も行い、決算の監査も行っていきます。起債の償還が15%を超えず破たんしないことを知っているはずなのに、どうして「今後の償還額増加が懸念されている」と書いたのですか。

答 そのことは知っていますが、町債発行額が近年増加していること、経常収支比率が94・6%になっており、財政が硬直化しているのを書きました。一般会計の指摘事項の最後に、「課題としている施策を着実に推進することで住民の福祉の増進を図り」とあるが、ムダがないのか、事業の見直しがないのか、個別具体的な指摘がなく、一般的な指摘にとどまっているのはなぜですか。

監査委員 従来指摘していた財政健全化の文言を使わないで、全体の中で指摘しました。化が懸念される財産の民間への貸し付けを含めた利活用を指摘していますが、具体的にはどうい

問 「財産に関する調査」の中で、遊休化が懸念される財産の民間への貸し付けを含めた利活用を指摘していますが、具体的にはどうい

うことですか。
監査委員 ソーラー発電や駐車場などへの活用です。

介護給付の適正化とは

問 介護度が高くなることを指摘した上で、介護予防や給付適正化を進め健全な介護保険事業の運営を求めています。しかし、介護度が高くなっていく人に対し、給付の適正化を求めるのは、実態に合わないと思

いますが。
監査委員 介護保険全体で適正化を図るべきだということを書きました。介護度の高い人に対し給付の適正化を求めるものではありません。

問 介護度が高くなることを指摘した上で、介護予防や給付適正化を進め健全な介護保険事業の運営を求めています。しかし、介護度が高くなっていく人に対し、給付の適正化を求めるのは、実態に合わないと思



決算審査特別委員会

- 委員長 松岡 宏行 委員 福岡久二子
- 副委員長 溝北 好一 委員 藤本 憲一
- 委員 東芝 弘明 委員 福井 強太

水道事業会計

会計制度変更で値上げを求める？

問 供給単価（184・27円）と給水原価（213・91円）の関係で29・64円給水原価が供給単価を上回り、費用を収益でまかなえていないことを監査委員は指摘し、「営業費用の合理化節減等経営努力が望まれる」としています。しかし、これは、国によって会計制度が変更され、減価却費に補助金や他の財源などもカウントするようになったからです。新会計では、同

時に前受け資本金から営業外収益に繰り入れる措置がとられたので、収支は基本的には変わりません。供給単価と給水原価の関係を取りあげ、改善を求めるということは、水道料金の値上げを求めるものになりませんが。
監査委員 会計制度の変更によって、供給単価と給水原価の関係が初めて逆転しました。値上げを求めて指摘しているものではありません。

通知カードをなくすと 再発行は500円必要

マイナンバー制度実施のため、個人情報保護と手数料の条例改正案が質疑されました。

マイナンバー制度 課題は山積み

問 役場のセキュリティが万全な状態なのにサイバー攻撃によって、特定個人情報情報が盗まれたときに、役場は住民に対し損害賠償の責任を負いますか。

町長 役場に損害賠償の責任があるかどうかは、個々の状況によります。

問 通知カードが届かない場合、どうなりますか。

住民福祉課長 通知カードは、郵便局で転送手続きをしていても転送されません。8月24日から9月25日までの期間に役場に申し出ると希望先に転送できま

す。届かなかった通知カードは、市町村が送付する努力を行い、3カ月間は市町村が保管することになります。長期出張や施設に入っている人、DVで夫から逃げている人などは、市町村に申し出れば転送されます。

問 通知カードを失った人で、自分で役場に行くのが困難な人への再交付はどうなりますか。

住民福祉課長 委任状を持った第三者が窓口で申請し、手数料500円を納めると地方公共団体情報システム機構から、通知カードが本人宛の簡易書留で送

付されます。

問 来年1月1日から役場の窓口で各種証明書等の発行を求めるとき、マイナンバーを提示する必要がありますか。

住民福祉課長 各種証明書の発行においては、番号記入を求められるものや、今後の番号制度の推進によって新たに規定されるものもあります。

マイナンバーとは、社会保障、税、災害対策の分野で効率的に活用されるものです。

付番=住民票のある人全員に国から番号が付けられます。

↓
番号通知カード=付けた番号を一人一人に知らせるカードです。これにより自分の番号がわかります。

↓
個人番号カード=自分の写真を付けて申請し、作ります。身分証明書としても使えます。(任意)



討論

私はこう思う

マイナンバーは、導入前から破たんが約束されています。この制度の目的は国民の徹底的な管理にあります。国には、国民の自由と民主主義を保障し、人権とプライバシーを守る責任があるのに、この制度は国民を混乱と危険にさらすものです。民間事業所が対応しきれないのは明らかです。情報がダダ漏れになり、詐欺も懸念されます。この制度は廃止すべきです。

東芝 弘明

採決に対する表決状況

(注) 赤阪岩男議員は、議長のため採決には加わらない。

○は賛成

●は反対

条 例 名	議員名 結果	赤	浦	宮	東	大	新	氏	福	雑	溝	小	藤	松	福
		阪	中	井	芝	原	堀	岡	岡	賀	北	林	本	岡	井
かつらぎ町個人情報保護条例	10対3で可決	—	○	●	●	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○
かつらぎ町使用料、手数料、督促及び延滞金条例	10対3で可決	—	○	●	●	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○

一般質問

町民のおもいを届ける60分



答弁する井本町長

一般質問は、議員が事前に提出した通告書に基づいて、町政に関する提案や質問を行うものです。持ち時間は一人60分。なお、記事は、質問者の責任において作成されたものです。

1 松岡 宏行

- 健康寿命日本一を目指すために
- ① 禁煙運動の推進
- ② 禁煙外来治療補助金の設置
- ③ 公共施設敷地内の禁煙実施

2 小林 総一

- 学校における平和教育について
- 町の有料広告について
- まち・ひと・しごと創生総合戦略について

3 宮井 健次

- (仮称)シルバータクシー助成事業制度の導入について
- 妙寺保育所跡地利用について
- 町独自の奨学金制度について

4 溝北 好一

- 井本町政の地方創生とは

5 福井 強太

- 乳幼児等医療費助成制度について

6 福岡 久二子

- 生活基盤のための学習支援を

7 東芝 弘明

- 定住促進について
- 農業政策の発展のために

8 藤本 憲一

- 非農家の農業意欲向上のため小型農機具のレンタル実施を
- 職員のモチベーションアップ対策として、人事考課に追加評価導入を

公共施設の敷地内禁煙を

町長 直ちには困難



松岡宏行 議員

問

平成25年9月6日、井本町長は健康寿命日本一を宣言しました。

健康なからだづくりには、運動、食生活、禁煙、歯

の健康が大切だと「健康寿命日本一推進計画」に記載されています。喫煙・

肥満・運動不足の組み合わせによって、心筋梗塞、脳疾患、がん、糖尿病、高血圧などのリスクが高まることは、様々な調査で明らかになっています。特に、禁煙は健康増進と医療費抑制効果を最も期待できるものの一つであると考えられます。かつらぎ町の喫煙率は。

やすらぎ対策課長

住民アンケート調査では、喫煙率

14・9%です。

問

今町長に求められているのは本気度です。そして実践です。自身禁煙しますか。

町長

健康を害するリスクの多くは、口から入ってくる毎日の食事、喫煙、酒ですが、改善の方向で取り組みます。いつから禁煙するかというのは、今そこまで思っています。

問

成人の14・9%が喫煙しています。

そのうち男性44%、女性68%の町民が禁煙を希望していますので、私たちの背中を押し、きっかけをつくるのが運動です。その苦しみを和らげ、成功率を高めるのが禁煙外来治療です。禁煙外来治療の成功率は70%といわれています。

平均的に治療に8週間から12週間で、保険適用で自己負担が1万3000円から2万円ぐらいで

す。

町民の健康のため、禁煙外来治療に要する費用のうち自己負担に、上限として1万円の補助制度を提案します。

町長

禁煙の動機づけとして、経済的に問題で禁煙外来にいけないということではないと思います。難しいと思います。

問

健康増進法に伴い公共施設内の禁煙と分煙を実施して、町民に十分浸透してきました。

次へのステップは、健康寿命日本一に向かって公共施設敷地内の完全禁煙です。県下の受動喫煙実施状況調査で、敷地内禁煙を実施している市町村は3団体です。本来ならばこの中にかつらぎ町があってしかるべきです。それは、健康寿命日本一宣言をしているからです。

町長

公共施設の敷地内に喫煙場所を設けないと吸殻をそこら

に捨てられることになり、直ちには困難とと思っています。今喫煙コーナーを設けていますが、十分でないのでは、当面は分煙を完全に取り組んでいきます。たばこは嗜好的なこともあって敷地内全面禁煙は多少困難を伴うと思います。

まとめ

町民にとって、健康に必要な課題であれば丁寧な説明して理解を深め、町民に本気度を示すため町長が先頭に立って取り組むことを期待します。



平和教育に戦争体験者、戦没者遺族を

教育長 リアリティがあり、非常に効果的



小林 総一 議員



戦没者追悼式

問 学校における平和教育について、現在どのような学科でどのような内容、手法で行っていますか。

答 私も町戦没者追悼式に出席しました。ご遺族の方が献文され、涙なしでは聞くことのできないほどの辛苦、体験談を聞かせていただきました。戦争体験者、戦没者遺族の方も高齢化し、戦争体験を風化させないため全国あちこちで次の世代に語り継ごうとしています。学校の平和教育の時間にご利用した方々をお招きし、生の声を聞き交流してもらおう

教育長 小中学校とも国語科、社会科、総合的な学習の時間などで、一斉授業やグループ学習、課題解決学習等を通じて行っています。戦争の悲惨さ、命・平和の尊さ、平和を維持するためにどうした努力をしたらいのかを、児童生徒がそれぞれの課題を持って取り組んでいます。

教育長 本や映像で知り得る知識と違いリアリティがあり、非常に効果的であると考えま

地方創生アンケート調査方法の改良を協働の地区担当機能アップを

問 協働の取り組みによる説明とミニアンケートなどの意見聴取が実施され、8月末締切りとなっているますが回収状況は。

企画公室長 183町内会のうち22回実施され、集計中で数の把握はできていません。

企画公室長 説明は必要だったと思う。住民票のない人への対応は委託費用と個人情報の問題で入れなかった。今後転出時にアンケートができないか検討しています。

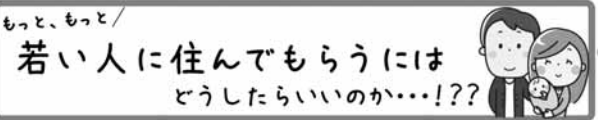
問 18歳以上49歳までの2千人アンケートには人口予測などの説明が入っていない。また20歳から24歳の転出人口が一番多く大学進学や就職での転出が多いと分析問題視しながら住民票のあるのみを対象にしているのか。

問 ミニアンケートの回収状況でもわかるとおり、行政と地域とのパイプ役である協働の地区担当の機能が十分発揮されていないのではなか。またアンケート調査の改良についてどう考えますか。

町長 協働の地区担当制度は十分機能している状況にはないと

思っています。住民とのパイプ役になりきれれるような取り組みをしたい。アンケートについては、総合戦略の見直しの中で改良をしていきたい。

※その他 広報かつらぎと町ホームページで行っている有料広告について、町の財政状況が厳しいならば、企業的感觉を持って工夫を凝らし、たとえ少しでも収入を上げる努力をしてほしいとの質問もしました。



妙寺保育所跡地を常設の児童館に

町長 福祉施設を考えている



宮井 健次 議員

問

来年4月から町内2カ所にこども園が開設されると既存の保育所や幼稚園等の公共施設の跡地活用はどうなるのですか。妙寺保育所の場合は。

総務課長

福祉的な施設として活用していく方向です。

問

具体的にどういう施設を対象と考えているのですか。

総務課長

障害者の作業所です。

問

地元の自治区や周辺の町内会に打診しているのですか。

総務課長

今後検討していくというこ

とで、地元具体的な話としてはしていません。

問

現在、児童館は11館ありますが、常設の児童館がないのは妙寺地区だけですね。

青少年センター そうです。
事務局長 す。将来的には児童館は必要と考えています。

問

現在、妙寺公民館の建て替えにあたって、3階に児童館を設置するという話が進んでいると聞きますが、当初の基本計画にはなかった

のでは。

教育長

主管課の青少年センターでは妙寺保育所の跡地も含めて検討に入りました。同センターの考えが決まらず児童館の話はその間、出ずじまいという経過です。

問

今年5月20日開かれた妙寺公民館の運営委員会の総会でも町当局から児童館を3階に設置するという提案がありませんでした。妙寺公民館長すら知りませんでした。だから6月24日、館長名で設置見直しの要



妙寺保育所

望書を教育長に提出している状況です。これは一体どういうことですか。一番問題なのは、公民館の関係者とその周辺の人たちも全く町がやろうとしていることについて誰も知らない、何の説明もない。こんなやり方で児童館ができて子どもたちが喜ぶと思えますか。

町長 公民館と児童館を併設する形で

(仮称) シルバータクシー 助成事業制度の導入を

問

ある民生委員からコミュニティバスの停留所にも行けず乗りたくても乗れない高齢者、障害者が増えており困っているが何とかならないかと相談がありました。かねてからデマンドバスの要望がありますが実現していません。そこで、コミュニティバス事業を補完するものとして、本町で(仮称)シルバータ

両機能をもった新たな建物をつくるよう担当課に指示したつもりでしたが、意思の疎通ができていませんでした。

まとめ

現在の町の方針を白紙に戻し、妙寺地域の中心市街地の活性化のためにも、妙寺保育所跡に児童館の設置を検討していただきたい。

クシー助成事業制度を導入してはどうですか。これは、75歳以上の高齢者、障害者を対象にタクシータケット(年間)を発行して町内移動ができるようにするものです。

町長

今後の状況をみてコミュニティバスの在り方とあわせて、導入も視野に入れながら検討を進めたい。

井本町政の地方創生とは

町長 人口が減るのをどないかせないかん



溝北好一 議員



国道480号沿地域振興交流施設予定地 (四郷)

問

一期目の井本町政は、どんな町づくりをしてきましたか。町民からは「よくやってくれています、町の将来像は見えにくい」との声があります。

企画公室長

第4次長期総合計画の

中での将来像「住んでみてここがイチバンかつらぎ町」をキーワードとして、「笑顔で暮らせるまちづくり」、「活力あるまちづくり」を目指すため人口増、若年層の定住化を図ることが重要として取り組んできました。具体的には、雇用就業の安定対策、魅力ある商工業の振興、新規分野の支援、農・商・工連携による商品開発、ブランド

化への取り組みを行ってきました。

問

具体的な政策は町民からは見えにくいとの声がたくさんあります。「健康寿命日本一を目指す」は素晴らしい政策ですが、町民には具体策との連動性が見えない状況にあります。

町長

4年間いろいろな取り組みをしましたが、活性化を中心に人口の歯どめをかけようということが最大だったと思います。

問

平均寿命と健康寿命に大きな差があり、その年齢になって対策してもだめで、若い時代から運動・検診になじんでいただき健康づくりに取り組んでいただきたい。

笑顔で暮らせるまちづくりに取り組んでいます、水道の供給単価が給水原価を下回っている、子ども医療費無料化は本町をはじめ県



町長が掲げていた看板

下30市町村中11のみが小学校まで、大半が中学校卒業まで、高校卒業まで無料のところもあります。また青少年の犯罪率が県下ナンバーワン、箱物建設が多い等、町民から見た住んでみたい町には程遠いのではないですか。

企画公室長

現在基盤整備の事業が多くあります。地域の要望等もありしっかりと政策を進めます。政策等のアピール、マーケティング部分の不足があるので今後しっかりPRに努めます。

問

町長の2期目への抱負を聞かせてください。

町長

人口減に歯止めをかける、町の商工業をしっかり振興する。子育て世代の支援とすることで、こども園の新設、夜8時までの保育を行います。中学生の医療費無料化を視野に、農家の所得拡大に向けて取り組みます。

問

2期目に向かっての宣誓をお願いします。

町長

町の活性化を含む5つの政策を重点に近隣の市町と連携してしっかり取り組みます。

子育てのしやすい町を目指し 医療費助成制度を高校卒業までに

町長 まずは中学卒業までの
拡大を視野に入れて取り組みたい



福井 強太 議員

問 かつらぎ町と近隣市町並びに県下の乳幼児等医療費助成制度実施状況は。

やすらぎ対策課長 小学校卒業までとしているのは、かつらぎ町を含め県下で3市町のみです。現在18歳まで医療費を無償化しているのは県下で4町村、それ以外は全て中学卒業までが現状です。
伊都地方でいいますと、かつらぎ町が小学校のみで、あとの近隣市町は中学生まで無償化を実施しています。

問 18歳まで引き上げることに伴うメリットとデメリットは。

やすらぎ対策課長 デメリットは財政面です。医療費の無償化のメリットは子育てをしていく上で非常に心の支えになり、安心して子育てができます。単に金額の問題ではなく、心の支えという大きな効果になると思います。

問 本町において高校卒業まで引き上げることで予想される金額は。

やすらぎ対策課長 あくまで、も国民健康保険の加入者をもとにした推計ですが、平成27年度においては1180万円から1300万円であり、その後は生徒数とともに減少していくと思われれます。

問 今までの質疑を踏まえた中で、町長に提案です。本町の現状では、難病や小児慢性特定疾患の子どもを抱える家庭は小学校を卒業した時点で医療費を負担しなくてはなりません。また、高額医療費控除を申請しても継続的な負担がなくならないこともありません。さらに、先の推計でも、平成27年以降子どもの人口が減少していくことは実際の数字に表れています。そこで、かつらぎ町の人口減少の対策の一つとして、乳幼児等医療費助成制度の年齢を18歳までとし、近隣市町との差別化を図り、子育て世代の定住子育てのしやすいかつらぎ町とすることを提案します。

町長 直ちに18歳までは困難ではないかと思いますが、小学卒業までを中学生まで延ばした場合の試算値が630万円ということと、県下の各市町村の状況もありますので、新年度予算編成に当たって中学卒業までを視野に入れながら編成をしていきたいと思っています。ただ難病や特定疾患、急性期の病気の入院等の大きな負担を伴うものについては別に考えていきたいと思っています。



子どもは国の宝



国が支援する無料教室の導入を

町長 NPOや識字教室の拡充をはかりたい



福岡久二子 議員

問 子どもの貧困が深刻になっていいます。全国の実態は。

住民福祉課長 平均的な所得の半分を下回る世帯で暮らす子どもの割合は増加しており、平成24年度の調査で16・3%です。

問 文部科学省は、家庭の経済状況と子どもの学力に相関関係があることが全国調査で裏付けられた、としています。学習時間が経済的な困難さを克服するという分析も示されました。一方、和歌山県の不登校の状況が、平成26年度、全国最多レベルであること

が明らかになりました。不登校のきっかけとして、勉強がわからないということも挙げられています。本町の状況はどうですか。
教育指導主事 国、県に比べ低い数値です。不登校の要因はさまざまですが、学業の不振も1件あります。

問 おとなの識字についてはどうでしょう。
住民福祉課長 識字が困難な人はいると推測できますが、役場の手続きなどには代理の人が多く、表には見えてこない状況です。
生涯学習課長 自主運営の識字教室が町内に1学級あります。指導者持参のプリントが教材とのこと。



無料学習支援

問 国の支援は。
住民福祉課長 生活困窮者自立支援法が4月に施行されました。学習支援については、子どもの貧困の問題とおとなの学び直しを合わせた、今までにない取り組みです。県の事業で、国と県が半分ずつ費用負担を行います。

問 この法律のもとでは、課室をまたがる分野の連携が必要です。そのため庁内の機関の設置も含め、職員が仕事をできる環境を整えていただきたい。学習支援を計画する考えはありますか。
町長 識字が不十分でいる人の実態を把握したうえで取り組んでいけたらと思います。提案については、町内にある就労支援のNPOや、識字教室をさらに拡充して、ということになります。庁内機関については、そのうえで、どのようにやるかということになります。

問 独自の工夫をすることができます。無料学習塾で救済できる例は少ないかもしれませんが、手立てをとるのが行政の責任です。教育長の考えは。
教育長 深刻な貧困の実態がある今、関係機関との連携で支援をしていく必要があります。学習支援についても必要性を感じています。一緒に歩みながら人生を支えるという営みが大事です。

かつらぎ町全域をカバーする受入協議会を

町長 全町的に必要なのは言うまでもない



東芝 弘明 議員



問

人口減少をくいとめるために必要な定住と移住のテンポは。

企画公室長

2016年以降2029年まで、毎年20歳から34歳まで5歳刻みで男女10人ずつ増えて合計60人、40歳代の小学生の男女の

問

移住・定住事業をどう理解していますか。

町長

総合的に魅力ある町でなければ来てもらえません。一つの大きな柱であることに間違いありません。

問

地域にある受入協議会とは。

町長

協議会が全町的に必要なのは言うまでもありません。

問

80人の移住等のために、町の担当者であるワンストップパーソンの

産業観光課長

地域で受け入れをいろいろ世話してくれる組織です。天野地域の「天野の里づくりの会」、新城の「定住を促進する会」、四郷の「四喜の会」があります。

問

40歳未満の若年移住者一世帯当たり最大250万円、空き家改修補助金80万円などを受給するためには、受入協議会が必要です。町全域をカバーする受入協議会連絡会をつくる考えがありますか。

体制をどう構築しますか。
町長 今のところ産業観光課で対応します。

新規就農支援の

サポート体制充実を

問

新規就農支援29件のうちUターンとIターンが9件、Uターンの5人は和歌山県内からかつらぎ町に戻ってきた人です。新規経営開始が21件、親元就農が8件。つまり農業をやったことのない人が70%を超えています。社会人コース受講が3人、農業関係の学

町長

役場で営農と経営の指導をするのは相当困難です。

問

農業政策は様変わりしています。営農指導は当面、OBの力を借りる必要があります。同時にベテランの農家の力を借りることも必要です。農業発展のビジョンを明らかにするために、現状分析と推計が必要です。作る考えはありますか。

町長

推計は不透明です。放任園が増えていきます。絶対的な人数不足なので農業の担い手をどう育成するかに尽きると思います。



小型農機具のレンタル実施を

町長 JAの力を借り、負担してでも レンタル台数を拡大していけたら



藤本 憲一 議員

問

健康寿命日本一のためシニア世代への健康推進、耕作放棄地の解消、定住促進などを目的に小型農機具レンタル事業を提案します。27年度からスタートした農機具バンク事業に貸貸は行わないという説明がありますがなぜだめですか。また和歌山版農地活用総合支援事業の農地利用権設定は非農家も対象ですか。

産業観光課長

農機具のレンタル

を行うことには別に認可も免許もありませんが、機械のため契約が必要で、ただ、機械が故障したとき、使った人に買い取ってもらう場合に

は、古物商の免許が必要になってくるので、役場では考えていません。農地利用権設定は農用地利用集積計画書を作成し、農業委員会が同意を得て成立する制度で農家に限らず一般の人でも利用できる制度です。

問

町内でも最近趣味の農園が盛んです。そういう人たちの話を聞きますと、自分で作った

町内でも最近趣味の農園が盛んです。



菜園

野菜を自分で食べる楽しさ、収穫できたときの喜びと感動など、余暇を利用した菜園づくりが長生きの秘訣になっていきます。健康で動けるまで続けたいと聞きます。そこで健康寿命ですが、何歳なのか数値的なものがあるか教えてほしい。

やすらぎ対策課長

国と算定方法に違いがありますが、和歌山県は男性77

問

退職されたシニア世代が土地もなく、農業経験もない人でも、安心安全な野菜作りを趣味としても15年はやれる、それが健康寿命の延伸につながると思います。

最近都会のビル屋上を利用した農園すべてレンタルで民間がやっています。また郊外でも体験型レンタル農園という休日に苗植え種まきをして、平日は近隣の人が世話を

する、休日になると収穫に来るといいうものもあります。都会の人をどんどん呼んでくる一つの施策だと思えます。わずかな費用で農機具レンタル実施ができます。健康寿命日本一を目指すかつらぎ町です。健康寿命延伸、定住促進のため実施して

は。

町長 健康づくりのうえで家庭菜園なり農業される人もたくさんいます。小型農機具は故障が起きやすい、レンタルとなれば不特定多数の人が使うことから相当故障が生じてくる、またメンテナンスができる者がいない、保管場所もないなど無理だと思います。JAではレンタル事業を行っています。JAの力を借りて町も費用を一部負担してでもレンタル台数を増やすことや、農機具を拡大する方向で協議を進めたいと思います。



その後のゆくえ 徹底追跡と検証



安心・安全な町をめざして、もっと多くの防犯カメラを
平成25年9月会議・平成27年3月会議

Q 安心して住める町づくりのため、公共施設に計画的な設置と、自家設置に補助金制度はできませんか。

A (町長) 自家用設置を含め計画を前倒しして進めていきます。

その後

平成27年4月、笠田駅前4基設置、運用開始し、本年度中に妙寺駅前に3基、かつらぎ公園に3基設置を予定しています。

これからは?

平成28年度以降、駅、学校周辺、公園など必要とする箇所、台数を把握し、町事業として設置を進めていきます。自家用補助制度については引き続き調査、検討します。



藤谷川内水氾らん対策の早期実現を
平成26年6月会議

Q 内水氾らんの新たな対策について、県から示された対策を含めて、地元住民の不安をなくすよう今後の方向性を示してください。

A (町長・建設課長) 佐野都市下排水路の排水ポンプとあわせて、藤谷川堤防のかさ上げによる方法で調査を進めていきます。

その後

平成27年3月に町の調査結果が出ましたが、県の調査結果ができ次第、地元と協議のうえ詳細設計を進めていく予定です。



これからは?

詳細設計ができ次第
早急に着工します。

追跡

あの
一般質問は
どうなった？



3 追跡 コミュニティバス路線の見直しを 平成26年6月会議・平成26年9月会議

Q 高齢者、交通弱者、買物難民の人たちの交通の便を確保するのがコミュニティバスの目的です。和歌山バスが大幅に減便され、その上乗客数が増加している中で河北コースが廃止されました。早急に見直しをし、再開を。

A (町長) 経費も考慮しながら、町民の利便を図れるよう考えていきます。



その後

平成27年10月から新たにJR笠田駅から高田まで延長し、河北通院コースとし、その他のコースは住民の利便性向上のため新バス停設置、ダイヤ変更が行われることになりました。

これからは？

毎年利用状況等を見ながら検討を行い、大幅な改正は3年ごとに見直していきます。デマンドタクシー、シルバータクシー制度についても引き続き調査検討を行っていきます。

4 追跡 町防災計画を見直し運用を急げ 平成26年9月会議

Q いつ災害が発生するかわからない中で、防災計画はどう見直し、いつから運用するのですか。

A (町長・総務課長) 国、県の防災計画の変更に伴う見直しと、町独自の見直しも行っています。防災計画ができ次第一日も早い運用を考えています。

その後

地域の防災計画素案を関係機関に示し、修正・意見を聞いているところです。今年10月中頃に素案完成予定です。



これからは？

素案が完成すれば議会説明を行ったうえ、町防災会議に諮り、決定すれば即運用していきます。



これからも追跡記事をみなさんにお届けしたいと思っています。

委員会活動報告

9月1日
委員会開催

総務産業常任委員会

鍋谷峠トンネルの視察

国道480号鍋谷峠道路（鍋谷峠トンネル）の進捗状況を視察しました。トンネルの延長は3697メートルで、8月末現在和歌山県側より2650メートル掘り進んでいます。これは、府県境より



大阪へ1276メートルの位置になります。今後は平成28年度末の完成をめざし、平成27年12月より大阪側からも掘削が始まります。1日も早い完成を願います。

7月21日
8月31日
委員会開催

厚生文教常任委員会

保護者のニーズに応える子ども園を

7月の委員会では、学校における子どもの実態について教育委員会から説明を受け学習しました。

8月の委員会では、5日間実施した子ども園開園に伴う保護者説明会について、教育委員会から説明を受けました。出席率は関心の高さから60%を超え、会場の資料を配付しています。さらに、説明会での内容を町ホームページに掲載しています。

委員会は、保護者からの保育・教育内容に関する要望について、指定管理者の責任にするのではなく教育委員会も積極的に関わり対応すべき、また、指定管理者が充実したことも園の運営ができるように、教育委員会が条件整備に努めるべきだと指摘しました。



建設中の佐野子ども園

わかりやすい議会だよりを

広報編集は、新しいメンバーになってから紙面の割り付けを2人1組で行っています。議員による紙面の割り付けは、初めての試みです。ページごとのテーマが決まり、見出しやリードが作られて、紙面構成が大きく変わりました。

ページの段組は、5段から6段に改めました。これによって写真を大きく扱えるようになりました。紙面編集は、経験不足なので四苦八苦していますが、どうすれば伝わる紙面になるのか、どうすれば分かりやすくなるのか、探究を重ねています。

質疑も一般質問も委員会報告も、文章はすべて議員が書いています。記事の取捨選択も編集委員会の仕事です。できあがった原稿を印刷会社に渡し、何度もやり取りしているのは議会事務局です。



8月28日
委員会開催

議会活性化特別委員会

議会基本条例策定の作業すすむ

議会基本条例(案)の本格的な策定作業に入りました。

前回、前文を含む全9章の骨子を確認したあと、各章担当を委員全員で分担しました。今回は「前文」(案)の担当から提案があり、議論が活発に行われ、前文(案)を承認しました。ひきつづき、9月16日に委員会を開催し、年内には委員会としての成案を作成することになりました。

議会を傍聴して

はじめて議会傍聴にこさせてもらいましたが傍聴の人がいなくてびっくりしました。いつも傍聴する人がいないのかこれから傍聴にこようと思いましたが、傍聴する人がいない議会は閉鎖した空間になるためあまりよろしくないと思いました。

自分のように若い世代は仕事があり傍聴したくてもこれない人がいるかもしれません。今やネット社会で議会の傍聴もネットでできる時代です。開かれた議会をめざすならそういったこともとりいれていくべきだと思えます。それができないとなるのであるならばそれは閉鎖した環境がよいと判断していると思ってしまう。

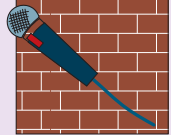
もっと新しい物を取り入れ若者やこれから生まれてくる世代のためにがんばってほしいです。

(30代男性)

議会を傍聴してみませんか & ご意見募集!

次回は12月上旬からの予定です。傍聴については、事前申込みの必要はありませんので、お気軽にお越しください。議会だよりに対するご意見なども募集しております。なお、お寄せいただいたご意見は紙面に掲載することがあります。

がんばる人紹介



昔ながらの釜炊きで

手造りのとうふ 「もりわき」

今回は、手造り豆腐の「もりわき」を訪問して、昔ながらの釜炊きで造る豆腐など聞きました。



どんな品物を作っていますか

堅もめん豆腐、コク絹ごし豆腐、手揚げ油揚げ、厚揚げ、絹揚げ、ひろうす、豆乳です。

何にこだわっていますか

お客さんに喜んでいただける品物を作りたいです。材料の大豆は、国産・外国産を厳選して使用し、昔ながらの直火炊きの鉄

釜で直接炊いて、造っています。蒸気など機械化した品物でなく、ガス火の高温で炊くので、うまみやコクが増えています。

品物のPRを

手造りで手間をかけていますので、機械化した豆腐より少し高いですが、手造りのよさを味わってください。こめ油を使った手揚げ油揚げなどは好評です。

商売のきっかけは

以前、飲食業で「もりわき」の豆腐を使っていたとき、先代より「店閉めたいんやけど、閉めたらお客さんが困るんで、どうかね」と声をかけられました。夫婦で相談して決め、2か月付きっきりで教えてもらい、「もりわき」の屋号を引き継いで、平成21年開業しました。

苦労したことは

先代の豆腐を目指して、「もりわき」の自前豆腐を造ることが大変でした。

うれしかったことは

最初の頃、お客さんよ、できの悪い豆腐を買っていたら、叱咤激励されたときです。

議会だよりは読まれていますか

毎回読んでいます。最近読みやすくなった気がします。

(店の場所と連絡先)

国道24号沿い妙寺簡易裁判所北向。
定休日 日曜日
かつらぎ町妙寺54の5
電話 22-0249
代表者 篠田 賢

